



第20回 The 20th Annual Meeting of  
the Japanese Society of Drug Informatics

# 日本医薬品情報学会総会・学術大会

二十歳を迎えて～日本医薬品情報学会の新たな一歩～

## 特別講演

7月9日 PM

**医薬品適正使用と薬剤師～見える、見せる、見られる薬剤師へ～**

演者 森和彦 厚生労働省

## 教育講演

7月8日 PM

**これからの医療における AI の活用**

演者 大江和彦 東京大学大学院医学系研究科 医療情報学分野

## 教育セミナー1

7月8日 AM

**有意であっても、有意でなくても –有効性、安全性の統計的解釈–**

演者 佐藤俊哉 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療統計学

## 教育セミナー2

7月8日 AM

**医薬品リスク管理計画 (RMP) –制度施行から4年を迎えて–**

演者 成川衛 北里大学大学院薬学研究科

## 鼎談

7月8日 PM

**日本医薬品情報学会 20周年記念鼎談～これまでの20年、これからの20年～**

司会 政田幹夫 大阪薬科大学

## シンポジウム

7月8日 PM

- 1 AI時代の医薬品情報のあり方を考える
- 2 アカデミック・ディテリングを実践しよう！～公正中立な医薬品情報活動の推進～
- 3 Communication for リスクコミュニケーション
- 4 医療従事者への情報サービス

7月9日 AM

- 5 禁忌・適応外使用・未承認薬の医薬品情報と院内使用ルール
- 6 医薬品情報教育のこれから～教育から臨床現場へ～
- 7 医療ビッグデータ時代のRMP
- 8 製薬企業のホームページとこれからの医薬品情報の形 –情報の標準化と共通化、そしてその先には–
- 9 医薬品情報リテラシー向上のためのITの活用

7月9日 PM

- 10 医薬品情報業務の過去・現在・未来 ～日本病院薬剤師会の医薬品情報業務の検討を踏まえて～
- 11 医薬品添付文書の記載要領改正の内容と業界及び医療現場からの考察
- 12 これからの医薬品情報のあり方とMRの存在意義 –激変する医療環境の変化と今後のMRのあり方–
- 13 精神疾患患者への医薬品情報提供 –今、求められる薬剤師の関わり–
- 14 災害医療と医薬品情報 ※7月8日PMから変更になりました。

※上記のプログラムについては、変更になる場合がございます。

会期

2017年7月8日(土)・9日(日)

大会長

望月 眞弓

慶應義塾大学薬学部教授・  
病院薬剤部長

会場

慶應義塾大学薬学部 芝共立キャンパス  
〒105-8512 東京都港区芝公園1-5-30

実行委員長

濱 敏弘

がん研有明病院薬剤部長  
院長補佐・薬剤部長

後援

厚生労働省  
公益社団法人 日本薬剤師会  
一般社団法人 日本病院薬剤師会  
一般社団法人 日本医療薬学会  
公益社団法人 東京都薬剤師会  
一般社団法人 東京都病院薬剤師会

大会事務局

慶應義塾大学薬学部医薬品情報学講座

〒105-8512 東京都港区芝公園 1-5-30

TEL/FAX: 03-5400-2120

運営事務局

日本コンベンションサービス株式会社

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル 14F

Tel: 03-3508-1214 Fax: 03-3508-1302 E-mail: 20jasdi@convention.co.jp

大会ホームページ

<http://www2.convention.co.jp/20jasdi/>